

# コバノアリアケカズラ



学名 Allamanda cathartica cv. Grandiflora  
 科名 キョウチクトウ  
 別名  
 区分 まちかど しょくぶつ 街角の植物  
 分布 みなみ げんさん 南アメリカ原産（ブラジル、ギアナ）

説  
 明

常緑低木で原産地は南アメリカのブラジル、ギアナなどで、海辺に生えます。小葉の有明葛（コバノアリアケカズラ）はアリアケカズラの園芸品種です。葉の小さいのが特徴です。また、蔓性ではなく、低木タイプで樹高は1-2m、葉の質は革質です。開花時期は5月から12月で、花は黄色くて花筒部が長い漏斗形をしており、先は5つに裂けます。

葉の形 だえんけい 楕円形  
 葉の縁 ぜんえん 全縁  
 葉の先 えいけい 鋭形、えいせんけい 鋭尖形  
 葉の種類 たんよう 単葉  
 葉の付方 りんせい 輪生  
 葉の基部 はきぶ  
 実の種類 みしゅるい さくか 蒴果  
 花・萼色 はな がくいろ きいろ 黄色